

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

役員選挙

選挙公報



平成 29 年 1 月

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

選挙管理委員会

○ 選挙すべき役員名と定数

理 事：3名 以上 10名 以内

監 事：1名 又は 2名

○ 立候補受付期間：2016年11月25日～2017年1月3日

上記役員選挙において、候補者数が定数を超えませんでした。特定非営利活動法人愛知県理学療法学会選挙に関する規程 17 項により、候補者全員が無投票当選となりました。よって、選挙はありません。

以下、結果と各候補者の立候補趣旨を掲載いたします。

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

役員選挙（理事） 結果

【理事（定数10名） 候補者：8名】

結果	氏名	所属
無投票当選	星野 茂	蒲郡市民病院 リハビリテーション科
無投票当選	江口 雅之	中部労災病院 中央リハビリテーション部
無投票当選	森嶋 直人	豊橋市民病院 リハビリテーションセンター
無投票当選	金井 章	豊橋創造大学 大学院健康科学研究科
無投票当選	石田 和人	名古屋大学 大学院医学系研究科
無投票当選	青木 一治	名古屋学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
無投票当選	村上 忠洋	中部リハビリテーション専門学校 理学療法学科
無投票当選	岸川 典明	愛知医科大学病院 リハビリテーション部

※ 届け出順にて記載.

※ 年齢に関しましては、届出時点での年齢となっております.

氏 名 星野 茂
年 齢 53 歳
所 属 蒲郡市民病院 リハビリテーション科

【立候補の趣旨】

公益社団法人愛知県理学療法士会は地域包括ケア推進が現在活動の課題となっている。その課題解決には理学療法士個人のレベルアップは不可欠である。理学療法士個人の臨床技術がなければ、いくらシステム構築をしてもいつかは破たんする。愛知県理学療法士会はシステム構築をそして愛知県理学療法学会はそのシステムを支える臨床技術向上のための活動をいかに連携して行うかが、理学療法士の飛躍につながると思う。

両法人の事務局長としてお互いの役割を明確にしつつも、連携し理学療法士の飛躍につながる活動を目指したい。

氏 名 江口 雅之
年 齢 49 歳
所 属 中部労災病院 中央リハビリテーション部

【立候補の趣旨】

この度、NPO 法人愛知県理学療法学会理事に立候補いたしました江口雅之です。私はこの法人理事を平成 25 年度より現在まで 2 期務めさせていただいております。愛知県理学療法士会の事業には、私が入会した頃（29 年前）より研修会、学術大会などの準備委員や運営委員として様々なかたちで携わってきました。愛知県理学療法学会の今後の役割は会員の理学療法技術や知識の向上を図り、また多様化する専門性に対応する情報の提供が必要と考えます。会員の皆さんの意見を反映した講習会や研修会を企画し、その頻度や規模を調整し効果的に参加を促せる体制を整える。近年の急速な新入会員の増加に伴い不足する中堅指導者の育成は急務と考えます。超高齢社会を迎えた今、理学療法士が活躍し医療、福祉分野の更なる発展の一助となるよう法人運営に尽力いたします。

氏 名 森嶋 直人
年 齢 51 歳
所 属 豊橋市民病院 リハビリテーションセンター

【立候補の趣旨】

今日、医療・介護を取り巻く現状は大きなうねりの中にあります。地域包括ケアシステム構想はすでに動き出し、各専門職が様々な連携を持って、来たるべき2025年を乗り越えようと必死の覚悟です。理学療法士も医療・介護・予防の現場を担う職種として正念場を迎え、いかに良いサービスを提供すべきか模索しています。これまで日本理学療法士協会は、地域包括ケア推進・介護予防推進リーダー育成を柱に人材育成を図ってきました。しかし、地域に戻ると、理学療法士の現状については相変わらず「数は増えたが質はいかか」という声も聞かれ、学校教育や臨床教育変革が急務といえます。

私は、現在まで職場やNPO法人愛知県理学療法学会の活動を通して地域のネットワークづくり、研修・学会活動の充実を図るため微力ながら関わってきました。今後も地域の意見を集約し「理学療法士の質向上」を目指し問題提起を行う所存です。ご協力よろしくお願いたします。

氏 名 金井 章
年 齢 50 歳
所 属 豊橋創造大学 大学院健康科学研究科

【立候補の趣旨】

日本理学療法士協会・愛知県士会に入会後、約15年の間、地域の中核病院である蒲郡市民病院にて勤務し、理学療法士として実務のみならず、臨床研究、地域貢献活動に取り組んできた。その後は大学教員となり、理学療法士の養成、基礎研究に取り組んで15年弱が経過し、現在に至っている。その間、第19回愛知県理学療法学会事務局長や第23回東海北陸理学療法学会学術局学術部部長、第29回東海北陸理学療法学会準備委員学術局長、第48回日本理学療法学会演題編成担当部長を務めるなど、会員の学術・研修を支える活動を行ってきた。現在は、NPO法人愛知県理学療法学会理事、学術局長(研修部、学術誌部担当)として愛知県内の理学療法士における学術・研修活動に取り組んでおり、今後さらに貢献していきたいと考えている。

氏 名 石田 和人
年 齢 52 歳
所 属 名古屋大学 大学院医学系研究科

【立候補の趣旨】

私は大学教員として、理学療法“Science”の部分に携わって来ました。学術活動は理学療法さらなる発展にとって極めて重要であり、特に若手育成、学術活動への参画促進がその鍵であると考えています。私の本学会において、2法人に分かれる以前の愛知県理学療法士会の時代より、ニュース編集部長、学術誌部長などを歴任し、今年度は第26回愛知県理学療法学会の大会長も務めます。私はこのような活動経験を生かして、愛知県下の理学療法士の学術活動の促進と若手の育成に全力で取り組んでいきたいと考えております。現在、日本理学療法士協会では専門領域の分科会化が推進され、益々専門性が高まっています。それに対し、県レベルの本学会では、まず、より多くの会員が学術活動に参加できる環境づくりを進め、若手の育成、学術活動の促進を通じて次世代の理学療法学確立に貢献したいと考え、本学会の理事に立候補致します。

氏 名 青木 一治
年 齢 58 歳
所 属 名古屋学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

【立候補の趣旨】

2013年から2期4年間愛知県理学療法学会理事長をさせていただきました。この間、各ご担当の先生方のご尽力により、(公社)日本理学療法士協会の事業である生涯学習の新人教育プログラムや認定・専門理学療法士業務、県学術大会の充実そして日本学術会議の協力学術研究団体としての責務を果たすべく活動ができました。学術大会の演題数も100題を超えるようになり、日本学術会議関係では、独立行政法人大学評価・学位授与機構から、国立大学教育研究評価委員会専門委員および機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦の依頼をいただけるようにもなりました。しかし、これらは内向きの活動であり、今後は外に向けた活動の必要性を問われているようではありません。理学療法士に対する職能、学術両面の活動での向上を目指さなければなりません。そこで、学術面からもう少し協力できればと思い、学会理事に立候補することと致しました。よろしくお願いいたします。

氏 名 村上 忠洋
年 齢 51 歳
所 属 中部リハビリテーション専門学校 理学療法学科

【立候補の趣旨】

養成校の教員として、日々仕事をしている中、卒前教育と同様に卒後教育の重要性をも痛感しております。こうしたことから、NPO 法人愛知県理学療法学会（愛知県理学療法士会を含む）（以下、士会）や日本理学療法士協会（以下、協会）の役員として、長年、理学療法士の卒後教育に関わって参りました。こうした経験を踏まえ、今後も理学療法士の卒前および卒後教育の充実を目指す活動を通じて、士会や協会のお役に立ちたいと考えております。

氏 名 岸川 典明
年 齢 53 歳
所 属 愛知医科大学病院 リハビリテーション部

【立候補の趣旨】

私は、NPO 法人愛知県理学療法学会設立から学術局長としての理事を始めました。その後副理事長を仰せつかり、理事長の補佐として会の運営に携わって参りました。

会員諸氏が本会に入会し理学療法士としての研鑽が積めるよう、理事各位とともにシステム作りにも関与し、日本理学療法士協会が進める生涯学習、専門理学療法士制度、日本理学療法士学会の企画運営等々の情報伝達等にも努めてまいりました。そして、愛知県理学療法学会の充実を見るに至っております。今後も拡大を続ける、協会や公益社団法人愛知県理学療法士会と強調し、会員諸氏と共に理学療法士の質的向上に寄与できればと鑑み、理事に立候補した次第です。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

役員選挙（監事）結果

【監 事（定数 2 名） 候補者：0 名】

立候補者はいませんでした。 特定非営利活動法人愛知県理学療法学会選挙に関する規程 18 項により、理事会において補充の候補者を推薦し総会の承認を得ることとなりました。

選挙に関する、新しい内容は
特定非営利活動法人
愛知県理学療法学会のホームページ
www.aichi-npopt.jp
でも確認できます。

選挙公報

平成 29 年 1 月

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会
選挙管理委員会